



幼稚園・保育園や小・中学校の先生、環境アドバイザー、環境保全団体、企業の方、行政の環境担当者などを対象とした環境学習のためのワークショップが、2月20日（水）に、持続可能なスウェーデン協会日本代表のレーナ・リングダルさんをお迎えして、村山総合支庁講堂において開催されました。

東北芸術工科大学の三浦先生に、聞き手になっていただき、レーナさんからスウェーデンにおける環境政策のお話を伺いました。

環境学習のためのワークショップ

レーナさんの講演の後、「持続可能な社会をつくるための環境ルールをつくろう。」をテーマに、環境アドバイザーの奥山和司さんからファシリテーターになっていただき、ワークショップを開催しました。

ワークショップでの発表はもちろんですが、いろんな分野の方との交流が、このワークショップの大きな収穫であったと思います。



こどもエコクラブ 交流会



3月26日（水）、こどもエコクラブ交流会が山形市の村山保健所において開催されました。

当日は、県内各地で活動しているこどもエコクラブのこどもたちのほか、環境に興味のあるこどもたちも集まってくれました。



今回は、シャープ（株）から先生を招いて、「地球温暖化とリサイクル」についての話や「新エネルギー」の話を、実験を交えて楽しく教えていただきました。

特に、実際にゴミ処理工場で使われている原理を応用した、アルミ缶、スチール缶、プラスチック容器を分別する実験では、大人の人もびっくり！！楽しみながら学べ、とても楽しい交流会になりました。

環境リーダー 実践講座

3月18日に、環境学習に取り組んでいる方、環境に関心のある方などを対象に、環境科学研究センターにて、環境リーダー実践講座を開催しました。

最初に、家庭排水の汚れを調べるパックテストの実験を行いました。

次に、山形県環境アドバイザーでもある、最上川水環境ネットワークの佐藤五郎先生から、「最上川からやまがたの水環境を考える」と題した講演をいただきました。最上川の舟運の歴史や最上川のごミの話など、興味深いお話をたくさんしていただきました。



やまがた クマタカをつどい

3月22日（土）に環境科学研究センターを会場に「猛禽類調査会フォーラム やまがたクマタカをつどい」が開催されました。各地区で活動している人の報告の後、「やまがた発 クマタカの保全に向けて」と題したパネルディスカッションが開かれました。

また、同時開催された「クマタカ展」では、クマタカの研究成果のパネルや写真なども展示されました。その中でも、希少猛禽類研究家で写真家の今井正さんの写真には、参加者の皆さんも足をとめて、クマタカの迫力に見入っていました。



環 境 教 室

2月25日 山形地区衛生組織連絡協議会

山形市十日町の村山保健所において、村山地区衛生組織連絡協議会の指導者研修会を開催されました。

その研修会において、「身近なものから考える環境問題」をテーマに、家庭排水のパックテストの実験を行いました。



2月29日 荘銀総合研究所

荘銀総合研究所の皆さんが、荘内銀行の情報誌「凜」の取材のために、センターを訪れました。

実際に家庭排水パックテストなどの実験を行いながら、情報誌のヒントをみつけていったようです。紙面掲載は4月とのこと。どんな紙面になるかは、私たちもわかりません。ちょっとドキドキです。



山形県環境科学研究センター

村山市橋岡笛田三丁目2-1 TEL: 0237-52-3124

e-mail: ykankyose@pref.yamagata.jp

編集: 環境企画部

平成20年3月31日発行